

# 壬生義士伝

観賞日 2023年3月27日 上映時間 137分

## 【概要】

制作 2004年  
監督 滝田洋二郎  
脚本 中島丈晴  
原作 浅田次郎 『壬生義士伝』（2000年）  
音楽 久石譲  
撮影 浜田毅  
出演 中井貴一（吉村貴一郎）、佐藤浩市（斎藤一）、三宅裕司（大野次郎右衛門）  
夏川結衣（しづ、大野みつ）、中谷美紀（ぬい）、村田雄浩（大野千秋）



## 【あらすじ】

明治32年冬、東京。閉院間近の大野医院に孫を連れて一人の老人・斎藤一が現れる。斎藤はそこにあつた写真を見て驚く。写っていたのは斎藤が新選組時代に最も嫌ったが一目置いた男、吉村貴一郎であつた。院長の大野千秋によれば、貴一郎は南部盛岡藩の下級武士の身でありながら、学才と剣術に秀で藩校の教授を務めていた。千秋の父、次郎右衛門とは竹馬の友であり、後に藩主になつた次郎右衛門が最も信頼を寄せていた人物である。外では尊敬されていたが、北国の下級武士の生活は苦しく家族5人の生活を護るため貴一郎はやむを得ず脱藩という非常手段に打つて出る。脱藩後の貴一郎は斎藤の知るところで、北辰一刀流免許皆伝の腕前で剣は滅法強いが、カネに汚い変人で斎藤自身もある事件で貴一郎に口止め料を請求されたことがあつた。やがて、新選組も意見の相違から分裂、貴一郎は義を貫き最後まで幕府軍に付いて新政府軍と戦う。鳥羽伏見の戦いで重傷を負つた貴一郎は大坂にある南部藩邸に逃げ込み次郎右衛門と対面する。そこで、次郎右衛門が貴一郎に下した命令は・・・。

浅田次郎の柴田錬三郎賞受賞作の映画化。家族を愛し、義に殉じた武士の姿を描く人間ドラマ。各映画賞を受賞した感動作。

## 【解説】

### ■ポイント

#### ●三つの時代が並行的に描かれる

盛岡時代：貴一郎と次郎右衛門との関係、貴一郎の家族、脱藩の理由

新選組時代：斎藤が語る貴一郎の行動、変人ぶり

明治32年：大野千秋が語る貴一郎と家族、貴一郎の最期

#### ●受賞（2004年第27回日本アカデミー賞）

6部門にノミネートされ3部門で受賞

作品賞、主演男優賞：中井貴一、助演男優賞：佐藤浩市

### ■見どころ

#### ●貴一郎の生きざま

義に生きる、家族愛、次郎右衛門との友情

#### ●登場人物で誰に感情移入できますか

貴一郎、次郎右衛門、千秋、斎藤、・・・。